

平成25年度第3回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

森林文化の復興に向けた 取組について

- 森林文化の復興に向けた取組について
- ふくしまの森林文化の継承
- 森林文化の活用による地域の再生

平成25年12月25日

福島県 農林水産部 森林計画課

森林文化の復興に向けた取組について

- ・福島県には豊かな森林、清流、湖沼、海があり、県民の生活は森林の恵みに支えられてきた
- ・このような県民と森林との関係を「森林文化」と称し、平成17年度に「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を制定した
- ・生活様式の変化や、震災等の影響により、県民と森林との関わりが薄れ、森林文化が失われてしまう危機にある

○森づくり

- ・大径木伐採 ・吊し切り
- ・治山の歴史
- ・杣師 ・木挽師 等

○森の恵み

- ・水 ・山菜 ・木材
- ・会津桐 ・漆掻き
- ・狩猟 等

○森と技

- ・樹皮、竹、つる細工
- ・炭焼き、炭窯づくり
- ・木取り ・木地づくり 等

○森と暮らし

- ・森の恵みの郷土料理
- ・民話 ・言い伝え
- ・山の神信仰 等

○森の文化財

- ・地域に残る巨木
- ・歴史的な木造建築物
- ・一木造りの仏像 等

○森の風景

- ・浜通りの海岸防災林
- ・中通りの里山風景
- ・会津のブナ林 等

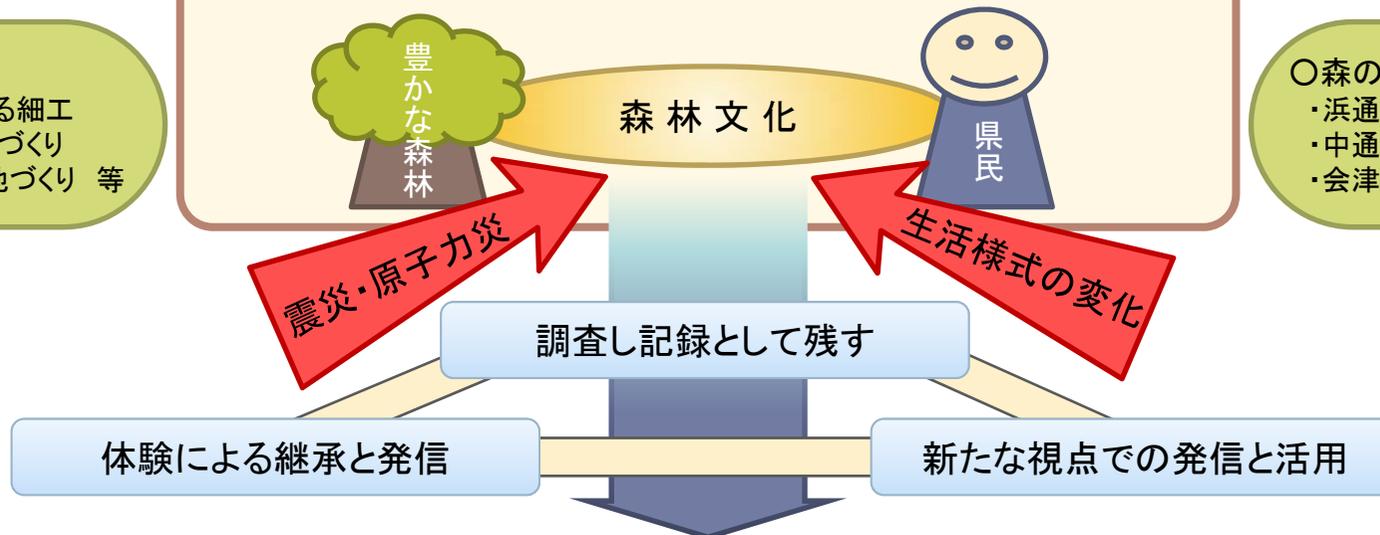
森林文化のくに・ふくしま県民憲章

(平成17年11月20日制定)

(本文)

わたしたちは、

- 1 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。
- 2 森林にふれあい、心豊かに生きます。
- 3 森林の恵みに感謝し、活かします。
- 4 森林を守り育て、未来につなぎます。

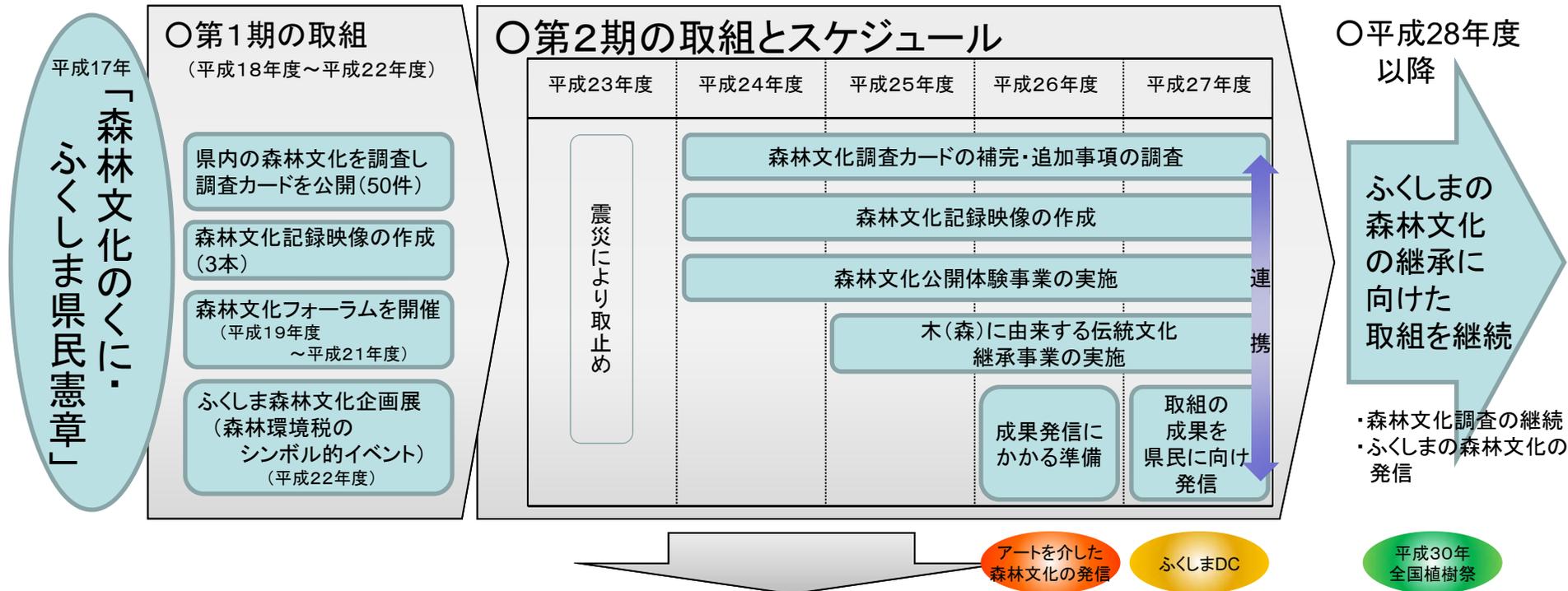


未来の子ども達に「森林文化のくに」を引き継ぐ

ふくしまの森林文化の継承

- ・森林環境税による森林文化の取組として、第2期(平成23～27年度)は「ふくしまの森林文化継承事業」を実施。
- ・震災の影響等によるものも含め、失われつつある森林文化を継承していくための取組として実施している。
- ・有識者からなる「福島県の森林文化に係る調査検討委員会」を設置し、取組に専門的な見地を反映。
- ・森林文化の調査を継続し調査カードを公開していくほか、平成27年度までに合計12本の記録映像を作成し公開する。
- ・ふくしま県民の森や、伝統文化が継承されている地方を会場に、県民に向けた森林文化の公開や体験のイベントを開催する。
- ・平成27年度には、森林文化調査等の成果を県民に向け発信する。
- ・県民に向けた森林文化の発信にあたっては、平成27年4月～6月のふくしまディステーションキャンペーンや、平成30年全国植樹祭招致等との連携を図る。

(8-2)

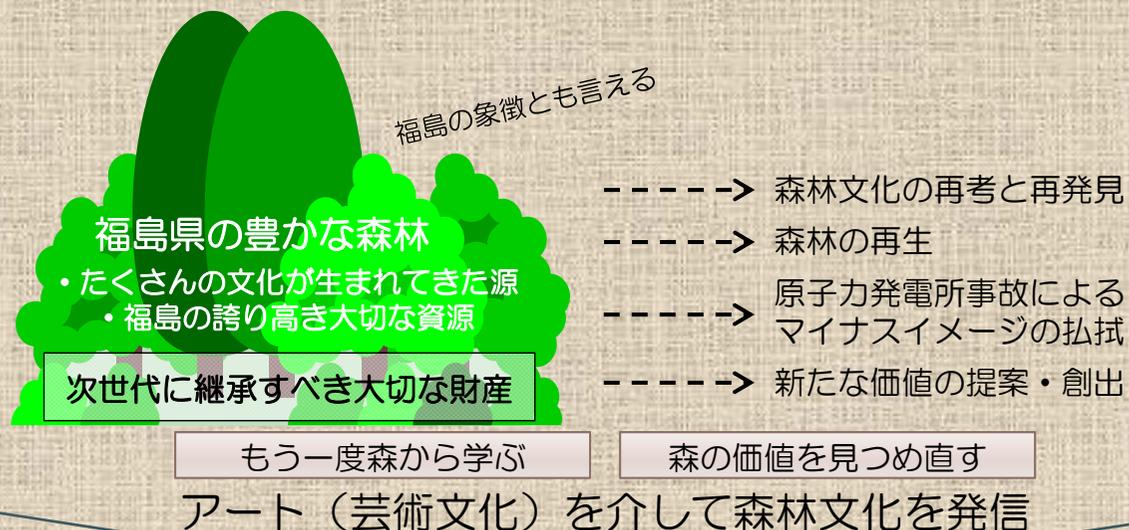


森林文化の継承や森林とのきずな再生に向けた意識づくり

森林文化の活用による地域の再生

文化振興課

- 福島県の豊かな森林は、多くの文化を生んだ誇り高き大切な資源
- 一方で、原子力発電所事故の影響による、福島に対するマイナスイメージがある
- 今だからこそ森林に目を向け、学び、見直し、福島の再生と未来への提言を全国へ発信する



全国へ発信する福島の再生と未来への提言

- 新たな価値の創出と提案
- 持続的な循環という大切なメッセージの発信
- 未来に向けた福島の創造的な復興を促進

■ 森林文化をテーマとした様々なアートプログラムを、様々なジャンルのアーティストとともに企画実施

○プログラム

地域資源×アーティスト×地域内交流による作品製作

（取組例）

- 囲炉裏と薪炭をテーマにした空間の創造
- 漆と編み組と桐の部屋の製作

○フォーラム

森林文化を取り巻く現状などの有識者の知見を共有し、森林文化の可能性を発信

（テーマ案）

- 森林から学ぶ循環型社会

○ワークショップ

アートを介して、県民が体験型で森林文化と地域資源を学ぶ

（取組例）

- 森林の小枝の水車でエネルギーを体験
- 森の恵みを学ぶ柴刈り体験